

- 1 単元名 輝く言葉を使って、人生ヒントポップを作ろう
 ～様々な人物の伝記を読んで、自分の生き方を考えよう～
 教材文 「手塚治虫」(東京書籍 5年) 国松俊英

- 2 単元について
 (本単元で取り上げる指導事項)

- C 読むこと (1) オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
 カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。
- B 書くこと (1) ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

〈教材の特質〉

本教材は、漫画家手塚治虫の生き方を取り上げた伝記である。伝記は、実在した人物について書かれた文章であり、作者がその人物の生き方を伝えるために効果的な出来事を取り上げて構成されている。本教材は、5つの章を立て、時系列に沿って述べられている。取り上げられている出来事には、手塚治虫の漫画への情熱と努力が表れているものが多い。手塚治虫の作品は漫画やアニメになり、児童の多くは手塚作品を一度は目にしたことがある。そして、手塚治虫は日本の漫画文化を世界に広げた偉人でもある。また、5年生という時期は自分の将来や夢、生き方について考え始めており、自分を見つめ直し、自分の生き方について考えることができる教材でもある。

補助教材として様々な伝記を教室に準備し、伝記を読むことによって自分の生き方を考え、深めることが期待できる。

〈本単元に関わる子どもの実態〉

- ・ 四年下「ごんぎつね」では、登場人物の気持ちについて深く考え、物語のその後の展開を想像を広げて考えた。また、お気に入りの物語を選び、ポスターを作って友だちに紹介する活動を行った。
- ・ 1学期教材「世界でいちばんやかましい音」では、ほとんどの児童が物語の山場を的確にとらえることができた。
- ・ 自分の感想がもてなかつたり、語彙力が不十分でうまく表現できなかつたりする児童もいる。
- ・ 想像を広げて読んだり、深めたりすることに個人差があり、物語文を読むことが苦手な児童もみられる。また、文章全体の構成を捉えることが困難な児童もいる。
- ・ 朝読書など、落ち着いた雰囲気の中で読書をしている。しかし、読書量にはかなりの差があり、読んでいる本の内容にもばらつきがある。

〈つきたい力〉

- 伝記を読んで人物の生き方について考えることができる。
- ・ 登場人物の相互関係や心情について読み取り、それについての自分の考えをまとめる。
 - ・ 複数の人物の生き方の違いを比べながら読む。
- 伝えたい言葉や文章をまとめて書くことができる。
- ・ 「輝く言葉」を使い、人物の伝記をポップにまとめる。
 - ・ 自分の考えを明確に表現するために文章を書く。

〈創造的な単元構想〉

つけたい力の明確化

○つけたい力の系統性

【既習】	【本単元】	【次単元】
つながりのある物語を読み、読んだ本を紹介し合う読書会を行う。	人物の生き方について考えたことをポップに書き、自分の考えを伝え合う。	読んだ物語に関する本を読み、友だちに読んでほしい本を推薦する。

○学習用語 伝記 ポップ 事実 引用 心情 紹介文 見出し (キャッチコピー)

単元展開の工夫

単元の導入では、司書教諭のブックトークで様々な伝記を紹介する。様々な伝記を読んで、人物の生き方について考え、ポップにまとめ、紹介し合うことを単元の最後に行うことを伝える。ゴールイメージを明確にもたせて意欲づけをし、並行読書に取り組みせたい。また、ポップという表現の良さや工夫を知らせ、作ってみたいという意欲づけを図りたい。

第二次では、手塚治虫の人生を4つの時代に分けて各時代の出来事と治虫の考えや思いを読み取り、ミニポップにまとめる。そのミニポップには教材文の中の様々な出来事や情熱、思いや生き方に関する「輝く言葉」を見つけて治虫の生き方をまとめ、生き方に対する自分の考えを書く活動を行っていく。その時代ごとで毎時間ミニポップを作り、ポップという表現方法に親しませたい。また、見出しと紹介文の整合性がないポップを教師が提示し、児童が間違いを指摘する活動を適宜取り入れる。その活動でポップの書き方のコツをつかみ、人物の生き方に視点をあてたポップ作りになるように仕組みたい。その後、本単元全体で読み取ったことを基にして手塚治虫のポップ作りを行う。「輝く言葉」「人生ヒントポップ」を合い言葉に、生き方のヒントになる表現なども取り入れてポップの中に見出しや紹介文を書くように指導したい。

第三次では、並行読書をした中から一番心引かれた人物の伝記を選び、学習したことを活かしてポップにまとめる。手塚治虫の生き方と比べたり、他の偉人の生き方と比べたりしたことを入れるポップ作りへとステップアップさせる。できたポップを友だちに紹介したり、図書館などへ掲示したりすることで、さらに伝記を読んで自分の考えを深めようとする意欲を高めたい。

主体的な学びをつくる工夫

- ・単元の見通しがもてるよう単元計画を掲示し、毎時間本時の位置を確認する。
- ・図書館と連携して伝記コーナーを設置し、第三次にスムーズに取り組めるようにする。
- ・教師がポップを提示し、グループで見出しと出来事の整合性を話し合う活動を行う。
- ・「輝く言葉」(教材文で注目させたい言葉)を表す表現を集めて掲示する。
- ・毎時間ミニポップ作りを行い、言葉を大切に活動を行う。
- ・学習後ポップを図書館に掲示し、目的や相手意識をもって意欲的に活動できるようにする。

〈本単元の目標と評価規準〉

目 標	複数の伝記を読んで、人物の生き方について考えたことをポップに書き、自分の考えを伝え合う。		
評 価 規 準	ア 国語への関心・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力
	①人物の生き方に関心をもち、進んで複数の伝記を読もうとしている。 ②伝記を読んで生き方について考え、ポップにまとめようとしている。	①自分の経験を示したり、文章を引用したりしながら、自分の考えが伝わるように書いている。	①伝記を読んで人物の生き方について読み取る。 ②人物の生き方について考えるために書き手の異なる複数の伝記を読んだり、他の人物の伝記と比べたりしながら読んでいる。

4 単元構想 (全9時間)

	次	時	主な学習活動	評価規準【 】と評価方法()
つ か む	○教室に伝記コーナーを設置して、伝記について興味を喚起する。			
	一	手塚治虫を読み、感想を交流し、学習の見通しを立てる。		
	1	○ブックトークを開き、様々な人物の伝記を知り、人物の生き方に興味をもつ。 ○ポップを紹介し、ゴールイメージと学習の見通しをもつ。	【関①】 伝記について興味をもち、進んで読もうとしている。 (ノート・発言・行動観察)	
2	○教材文全体を通読し、形式段落を確かめて文章全体をつかむとともに学習計画を立てる。	【関①】 伝記について興味をもち、進んで読もうとしている。 (ノート・発言・行動観察)		
取 り 組 む	二	「手塚治虫」を読んで治虫の考えや生き方について考える。		
	3	○小学校時代の出来事と治虫の考えや思いを読み取り、ミニポップを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 困難に立ち向かう人 手塚治虫 私はつらいことがあるとやめてしまうことがある。治虫はできることを見つけ、やり続けて漫画を書いたところがすばらしいと思った。 </div>	【読①】 人物の生き方について文章から読み取っている。 (ポップ・発言・行動観察) 【書①】 読み取ったことをもとにポップを書いている。 (ポップ・行動観察)	
	4	○中学校時代の出来事と治虫の考えや思いを読み取り、ミニポップを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 仲間を大切に人 手塚治虫 自分のことを優先してしまうことがある。治虫は戦争の恐ろしさやつらさにたえて仲間達を励まそうとする勇気がすばらしいと思った。 </div>	【読①】 人物の生き方について文章から読み取っている。 (ポップ・発言・行動観察) 【書①】 読み取ったことをもとにポップを書いている。 (ポップ・行動観察)	

振 り 返 る	5	○医療専門学校が出来事と治虫の考えや 思いを読み取り、ミニポップを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の選んだ道を進んだ人 手塚治虫 治虫は自分の好きな道をまっすぐに進む決意 をした。自分にはまだ夢はないけれど、家族の 支えに感謝しながら好きな道を突き進むとこ ろがすばらしいと思った。</p> </div>	【読①】人物の生き方について 文章から読み取っている。 (ポップ・発言・行動観察) 【書①】読み取ったことをもと にポップを書いている。 (ポップ・行動観察)
	6	○漫画家として活躍する時代の出来事と 治虫の考えや思いを読み取り、ミニポ ップを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>情熱と努力の人 手塚治虫 治虫は情熱と大きな努力で漫画家としての夢 を実現させた。自分はなかなか努力し続けるこ とができないので、治虫の漫画のすばらしさを 伝えるために努力し続ける姿に感動した。</p> </div>	【読①】人物の生き方について 文章から読み取っている。 (ポップ・発言・行動観察) 【書①】読み取ったことをもと にポップを書いている。 (ポップ・行動観察)
	7 (本 時)	○読み取ったことをもとにして手塚治虫 のポップを作る。	【書①】自分の考えが伝わるよ うに書いている。 (ポップ・発言・行動観察)
広 げ る	三	複数の伝記の中から自分が一番心ひかれた人物のポップを作り、自分の考えを伝え合う。	
	8	○手塚治虫と他の人物の伝記を読み比べ ながらポップを書く。	【関②】伝記を読み、ポップを 書き、まとめようとしている。 (ポップ・行動観察)
	9	○ポップを掲示して読み合い、感想を交 流する。	【読②】文章を読んで考えたこ とを伝え合っている。 (ポップ・行動観察)
発 展	○心が動くような言葉に興味をもち、日記や作文で書くことができる。 ○さらに伝記を読み、自分の生き方のヒントにしていくことができる。		

5 本時の学習

(1) 目 標 これまでの学習をもとに、手塚治虫の生き方と自分の生き方とを比べながら考え、短い言葉でポップを書くことができる。

(2) 評価規準 自分の経験や人物の行動を引用し、自分の考えが伝わるように書いている。

(書く①)

(3) 準備 児童：ポップカード

教師：ホワイトボード ポップカード

(4) 学習過程

学習活動と教師の働きかけ ・予想される児童の反応	○留意点と評価 【観点】 (評価方法)
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>め 輝く言葉を使って心を動かす人生ヒントポップを作ろう。</p> </div>	<p>○単元や本時のゴールを確認し、前時までの学習を振り返る。</p>
<p>2 治虫の生き方と自分の生き方を比べることと、根拠を明らかにした文章を書くことを考えながら、グループで手塚治虫の生き方について1つのポップを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情熱と大きな努力で夢を実現させた。 ・どんな困難でも夢をあきらめなかった。 ・戦争が起きている中、仲間を漫画で励まし続けた。 ・自分の好きな道をまっすぐ進んだ。 	<p>○家庭学習で事前にポップを書いておく。</p> <p>○ポップに書いてある大まかな内容で班編制を行い、そのグループで1つのポップを作るように促す。</p> <p>○ポップを書くときには、治虫の生き方と自分の生き方を比べることと、根拠を明らかにした文章にすることをおさえる。</p>
<p>3 グループごとに考えたポップを発表する。</p>	<p>○発表する時は、各グループで「輝く言葉」を強調したり、聞き手を意識したりしながら行うように助言する。</p> <p>○自分の生き方と比べながら発表しているグループを見つけ賞賛する。</p> <p>○自分の生き方と比べながら聞くように声かけをする。</p>
<p>4 グループの発表を聞いて、今後の自分の生き方のヒントとなるポップについて考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私はすぐあきらめてしまうことがあるけれど、夢を追い続ける姿を見習いたい。 ・スポ少の練習を休みたくなることもあるけれど、好きなことをやり続ける強さを持ちたい。 	<p>○生き方について自分の生き方と比べながら発言できた児童を賞賛する。</p>

<p>・自分のことしか考えられないことが多いけれど、苦しいときもみんなを励まし続ける姿をまねしたい。</p> <p>5 もう一度、手塚治虫のポップを作る。</p> <p>6 学習のまとめをする。 児童の振り返り 全体の振り返り</p>	<p>○「輝く言葉」や自分の生き方を書いている児童を把握するために座席表を使う。</p> <p>○めあてを意識してポップを書くことをおさえる。</p> <p>○グループや全体での話し合いを活かしながらポップを書くように促す。</p> <p>○困っている児童には、文の書き方がわかるワークシートを用意し、それを使って書いてみるように助言する。</p> <p>【評価】 手塚治虫の生き方と自分の経験を比べながら考え、自分の考えが伝わるよう短い言葉でポップを書いている。</p> <p style="text-align: right;">(ポップカード・発言)</p> <p>○家庭学習で作ってきたポップと今作ったポップを比べて振り返りをするように助言する。</p>
---	--